

電気・熱エネルギー高度利用支援事業費補助金

平成28年度予算案額 **15.0億円（新規）**

事業の内容

事業目的・概要

- コージェネレーションは発電時に生ずる排熱を有効に活用することで、高い総合エネルギー効率を実現することが可能であり、産業分野・業務分野における1次エネルギーの削減に寄与します。
- 長期エネルギー需給見通し（平成27年7月）においては、コージェネレーションによる電力供給が平成42年（2030年）に現状の2倍以上となる1,190億kWhに達すると見込まれています。
- コージェネレーションの更なる普及拡大のため、市場競争力のある高効率コージェネレーション機器の導入に対する支援を行います。また、コージェネレーションを活用し効果的なエネルギー利用を図るエネルギーサービス事業について重点的な支援を行います。

成果目標

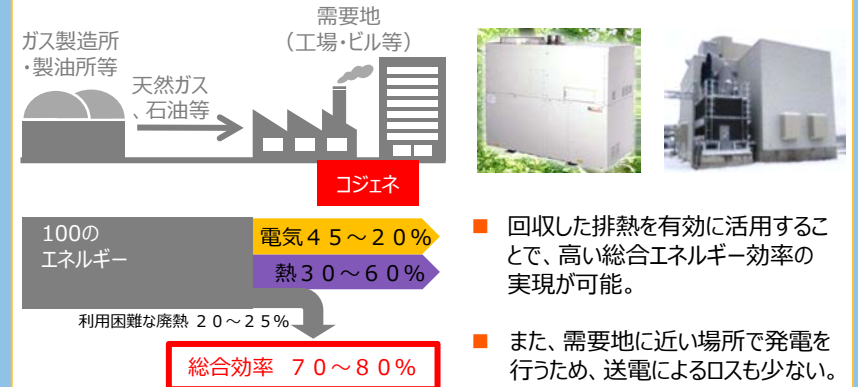
- 上記の支援を通じてコージェネレーションの普及拡大を加速することにより、平成42年（2030年）にコージェネレーションによる電力供給量1,190億kWhを実現します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

コージェネレーションの意義



コージェネレーションの導入形態

